



その想い



第3号

発行人：谷泰智
28年3月1日発行

★巡りくる春に



木へんに春と書いてツバキですが、護国寺の庫裏玄関前の椿もすでに咲広がってきています。

毎年同じ木に同じように花を咲かしても、その色合いと形は去年に比べると微妙に異なって、今年は今年の花が咲いています。

ところで、諸行無常という言葉はどこか儂い響きを人に与えますが、少しずつ暖まり始めた季節の中で、椿の花を通してこの言葉の意味を考えると、この言葉がもつ矛盾した不变性に、改めて頭がボーッとしてきます。

変わらないように見えて変わっているのか、変わっている事の繰り返しが変わらないのか・・・。

そしてそれら変化の入れ替わりの中にある、億千万の別れと出会いもこの春を境とし、我々はそのどちらにもまた一歩、足を跨いでゆきます。どうか今年の春も、一切衆生の営みが色々な輝きで荘厳されますように・・・。南無



1月19日の大雪の日
ツツジと雪景色の不思議な風景

★寺のホームページが動き始めました！ URLは [gokokuji.site](#) だけでOK



長年構想してきました、護国寺のホームページが完成し、住職の日記めいたものも日々更新されております。寺の事だけではなく大瀧山はもとより、広く加茂、日高、佐川の中のいろんなことを取り上げて行きたいと思っています。

寺院のホームページは全国多々ありますが、そのほとんどは観光寺院のものです。そこで、自坊のような地方の取るに足らない寺院が何を発信するものがあるのか？と、思われるかもしれません、こんな小さな寺だからこそできることがあると私は確信しています。

タイトルは『一地方寺院の挑戦』と宣う、いささか力みが入ったものではありますが、昨今の葬式仏教からの脱却と、寺院が果たせる新たな可能性を模索すべく、手探りと体当たりで精進しております。地域の発展無くして寺院の興隆は在り得ず、また仏道の啓発が護国寺周辺地域の活力のほんの1%にでもなればと、おこがましくも考えております。

「仏教を学ぶって、なんか変な信心でも興さないかんがやない？」 「結局、金取るばっかりやお？」などのヤジは、とうの昔からこの私自身が人一倍胸に抱いていましたので、『有り難さ』だけに頼った人集めは一切しないつもりです。

皆さんの人生も私の人生も、それぞれ皆さんにとって私にとって、『そう有ることが難しい』それを解るようになることが、本当の『有り難さ』の意味だと私は思います。

※ インターネットだけでなく、紙媒体での活動も並行して益々活発にして行きます。



*タイトルの梵字は、オンマニペメフムと読むマントラ（真言）です。
意味は『蓮華の中の宝珠に幸あれ』という意味です。仏法興隆を願ってつけました。